

# 日本広報学会 第26回研究発表全国大会

【1日目:10月3日(土)】

| ウェビナー (ID等は参加者に後日連絡) |  |
|----------------------|--|
| 10:15<br>~<br>10:25  | <b>開会式</b><br>柴山 慎一 (日本広報学会理事長/社会情報大学院大学)<br>伊吹 勇亮 (大会運営委員会委員長/京都産業大学)   |
| 10:30<br>~<br>12:30  | <b>基調講演 (逐次通訳付)</b><br>Professionalization of public relations (広報における専門職化)<br>Dr. Bey-Ling Sha (California State University, Fullerton)                                 |
| (昼食休憩)               |  |
| ウェビナー (ID等は参加者に後日連絡) |  |
| 14:00<br>~<br>16:00  | <b>パネルディスカッション</b><br>広報実務家は専門職であるべきか<br><b>パネリスト</b><br>飾森 亜樹子 様 (日本電気株式会社)<br>鶴野 充茂 (ビーンスター株式会社/社会情報大学院大学)<br>宮部 潤一郎 (北海道大学)<br><b>コーディネーター</b><br>山村 公一 (TSコミュニケーション) |
| 16:05<br>~<br>16:20  | <b>学会賞表彰式</b><br>小早川 護 (学会賞委員会委員長/北海道大学)<br>2020年度学会賞受賞者   |

【2日目:10月4日(日)】

|                     | Room A (ID等は参加者に後日連絡)   | Room B (ID等は参加者に後日連絡)  | Room C (ID等は参加者に後日連絡)  |
|---------------------|---|--|--|
| 司会                  | 山崎 方義 (愛知産業大学)  | 犬飼 貴俊 (INUKAI Inc.)  | 北見 幸一 (東京都市大学)   |
| 10:00<br>~<br>10:05 | 自由論題口頭発表の運営方法についての説明  | 自由論題口頭発表の運営方法についての説明   | 自由論題口頭発表の運営方法についての説明   |
| 10:05<br>~<br>10:35 | 大学における教育の質保証と学生の主体的学修推進の効果<br>—学生とのコミュニケーションを中心に—<br>永江 総宜 (東京都市大学) | 社会保障広報に関する「意思決定支援型広報」への変革<br>—グローバルスタンダードの行政広報の視点から見た<br>わが国の行政広報の在り方について—<br>菊地 英明 (内閣官房)                               | 大学広報における動画活用の傾向と可能性に関する研究<br>井関 崇博 (兵庫県立大学)  |
| 10:40<br>~<br>11:10 | チームで取り組むメディアトレーニング<br>—アスクルの事例から—<br>石川 慶子 (有限会社シン)                 | 都道府県警察における広報活動の訓令上の位置付け<br>本田 正美 (関東学院大学)  | シティプロモーションの基礎となるブランドストーリー形成手法<br>—学会助成研究B「シティプロモーション・ブランドブック研究」から—<br>河井 孝仁 (東海大学) |
| 11:15<br>~<br>11:45 | 新常态時代における広報専門職役員CCO論再考<br>—社会広報学アプローチ—<br>菅原 正博 (国際ファッション専門職大学)     | 「組織とパブリック」との関係性における広聴の検討<br>—Jim Macnamaraの「Organizational Listening」に関する<br>研究に基づいて—<br>米村 真悟 (同志社大学大学院)・伊吹 勇亮 (京都産業大学) | 北陸新幹線延伸を見据えた広報活動とブランディングの現状<br>—加賀温泉エリアを事例に—<br>野口 将輝 (金沢星稜大学)                     |

(休憩・移動)

| ウェビナー (ID等は参加者に後日連絡) |  |
|----------------------|--|
| 12:00<br>~<br>13:00  | <b>ランチョンセッション</b><br>人気ランキング急上昇! 広告会社の人材採用広報改革プロジェクト<br>坂本 宗隆 (株式会社大広) ・ 中牟田 佳苗 (株式会社大広WEDO) |

(休憩・移動)

|                     | Room A (ID等は参加者に後日連絡)   | Room B (ID等は参加者に後日連絡)   | Room C (ID等は参加者に後日連絡)  |
|---------------------|---|---|--|
| 司会                  | 河井 孝仁 (東海大学)  | 駒橋 恵子 (東京経済大学)  | 石橋 陽 (国際CCO交流研究所)  |
| 13:15<br>~<br>13:45 | 「ポストコロナ時代における戦略広報のあり方」の研究<br>—第3次経営コミュニケーション研究部会の研究計画—<br>斎藤 智文 (淑徳大学)・清水 正道 (CCI研究所)・田口 光彦 (株式会社ジョイワークス)<br>フレッドスミス美奈子 (クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社)<br>馬淵 毅彦 (馬淵文筆事務所) | 日本企業におけるnon-Japanese 広報マネジャー —その役割と背景—<br>山村 公一 (TSコミュニケーション)・竇 雪 (立命館大学)                             | コーポレート・アイデンティティ、ブランド、<br>レピュテーションの関係性に関する一考察<br>—コーポレートブランディング実践に向けたフレームワーク—<br>井上 邦夫 (東洋大学)・望月 真理子・中町 直太 (株式会社電通) |
| 13:50<br>~<br>14:20 | コロナ禍において、企業はどのように業績予想を発表したか<br>—開示企業と非開示企業の情報開示についての考察—<br>江良 嘉則 (株式会社エイレックス)   | 自分史で振り返る広報という職業について<br>—広報専門職としての企業内の立ち位置の考察—<br>南堀 信男 (国際CCO交流研究所)                                   | 企業博物館が有する娯楽施設的要素とコーポレート・コミュニケーション<br>高柳 直弥 (大正大学)・粟津 重光 (国際CCO交流研究所)   |
| 14:25<br>~<br>14:55 | 国際広報における日本の同調圧力の弊害<br>—諸外国からの指摘の検証と対策—<br>大島 慎子 (筑波技術大学)  | IC経営における経営理念の浸透と環境要因<br>—理念に基づいた「行動」に向かわせるためには—<br>北見 幸一 (東京都市大学)・柴山 慎一 (社会情報大学院大学)<br>清水 正道 (CCI研究所) | SNS時代の広報研究に対する社会理論適用の可能性<br>築地 達郎 (龍谷大学)   |
| 15:00<br>~<br>15:30 | 拡散する虚偽情報と情報生態系の一考察<br>—デマや噂の流布はなぜ拡散するのか—<br>田代 順 (株式会社マテリアル)  | 飛躍的成長をもたらす日本流エンゲージメントの提唱<br>—現場調査・考察からのアプローチ—<br>嶋谷 光洋 (株式会社アイマム)                                     | 危機管理広報の学術理論とその体系<br>国枝 智樹 (上智大学)・伊吹 勇亮 (京都産業大学)  |

(休憩・移動)

| ウェビナー (ID等は参加者に後日連絡) |  |
|----------------------|--|
| 15:45<br>~<br>16:00  | <b>閉会式</b><br>伊吹 勇亮 (大会運営委員会委員長/京都産業大学)<br>濱田 逸郎 (日本広報学会副会長/江戸川大学)<br>次期大会開催校運営担当者 |

【ポスターセッション】

|       |  |
|-------|--|
| PS-1  | 新型コロナウイルスによる広報活動への影響に関する考察<br>中 憲仁・池上 翔・酒井 繁・戸上 摩貴子 (株式会社電通パブリックリレーションズ 企業広報戦略研究所)               |
| PS-2  | 研究事例・交流部会「CCIに関する情報の共有と課題解決に取り組む」<br>石橋 陽 (国際CCO交流研究所)   |
| PS-3  | 日本の大学における広報教育の実態把握 ～研究会最終報告～<br>伊吹 勇亮 (京都産業大学)・国枝 智樹(上智大学)                                       |
| PS-4  | 広報実務家に対する広報教育の実態把握 ～研究会進捗報告2020～<br>伊吹 勇亮 (京都産業大学)・国枝 智樹(上智大学)                                   |
| PS-5  | 「DXコミュニケーション」—価値協創時代の新しいコミュニケーションのカタチを求めて—<br>大橋 行彦 (株式会社日立製作所)・柴山 慎一 (社会情報大学院大学)・北見 幸一 (東京都市大学) |
| PS-6  | 研究事例・交流部会「九州地域の組織体運営における広報の在り方」<br>小野 豊和 (元東海大学)   |
| PS-7  | 理論研究部会2020 ～中間報告2020～<br>国枝 智樹(上智大学)   |
| PS-8  | 広報戦略に関する基幹概念の再考と新概念の考察<br>小早川 護 (北海道大学)・井上 邦夫(東洋大学)  |
| PS-9  | 組織とメディアの連携による広聴制度の一考察 —東京2020とロンドンオリンピックの事例分析から—<br>小林 壘 (同志社大学)                                 |
| PS-10 | クリエイティブ・クラスの移住と自治体広報<br>佐藤 達郎 (多摩美術大学)   |
| PS-11 | 新興デジタルメディアの普及による個の発信とコーポレートコミュニケーションの関係性について<br>田尻 有賀里 (リスト株式会社)                                 |
| PS-12 | デジタル・コミュニケーション部会 活動報告<br>鶴野 充茂 (社会情報大学院大学)   |
| PS-13 | 寄付付き商品における消費者とコースの心理的距離が購買意図に与える影響<br>永井 雄也 (南山大学川北ゼミ)   |
| PS-14 | 中部圏企業における広報課題研究会 2020活動概要<br>中田 大也 (東海テレビプロダクション)・犬飼 貴俊 (INUKAI Inc.)・川北 真紀子 (南山大学)              |
| PS-15 | チーム・アイデンティフィケーション形成要因としてのSNSの役割<br>西松 陸 (南山大学川北ゼミ)   |